

参加型
オンラインセミナー



日本の母子保健を志す学生向け

多文化対応力

の必要性を考えるセミナー



現在、母子保健の現場では、外国につながる赤ちゃんの出産や来日に伴い、外国人住民対応のニーズが増加してきており、母子保健の多文化化に対応できる人材が求められています。そこで、学生時代から母子保健における多文化対応力の必要性を認識することで、多くの担い手が多文化対応をスムーズに行う契機となるように、参加型セミナーを開催します。

日時

2021年11月27日（土）
13:00～15:30

開催方法

Zoomによるオンライン開催

グループに分かれて参加者の皆さんで意見交換をします。
端末はスマホではなくPC・タブレットにてカメラをオンの設定で参加をお願いします。

講師

日本の医療・福祉現場の多文化共生について

二見 茜氏

国立感染症研究所 実地疫学研究センター

対象

~~神奈川県内に在住および在学の~~

看護・医療・福祉系の学生（定員:30名※抽選）

~~※但し、お席に余裕がある場合は県外の学生もご参加いただけます。~~

申込方法

申込フォームよりお申込みください。

https://willap.jp/p/acc_4614/studentseminar/



締切：2021年11月5日（金）~~※抽選の結果は11月8日以降にご連絡いたします。~~

主催：公益財団法人 かながわ国際交流財団

セミナーに関するお問合せ：Email:tabunka@kifjp.org TEL:045-620-4466
(担当：福田・星)



公益財団法人 かながわ国際交流財団
Kanagawa International Foundation